

『事例に学ぶ著作権事件入門』

目次

第1編 はじめに

——著作権事件のポイント

第1章 著作権事件の類型	2
第2章 著作権侵害事件	3
I 著作権侵害事件の大まかな検討プロセス	3
II 著作物性	3
1 思想又は感情の表現であること	3
2 創作性があること	5
3 文芸、学術、美術又は音楽の範囲に属するものであること	8
III 著作権の帰属	9
IV 誰に対して訴え提起するか（侵害主体の問題）	10
V 侵害行為	11
1 複製・翻案	11
2 著作者人格権	15
VI 抗弁	15
VII 損害論	17
第3章 第三者の権利侵害を予防するための法律相談	22
I 複製権等の侵害の可能性のある著作物等の洗出しと検討	22

4 目次

II 権利制限規定の適用の検討	24
III 権利処理の検討	29
第4章 著作権関連契約	30
I 契約の基礎	30
II 著作権契約の特殊性	31
コラム 著作権事件への入口	35

第2編 著作権事件の現場 ——モデルケースを題材として

第1章 類似事例（イラスト）	38
I 事案の概要	38
II 実務上のポイント	39
III ヒアリング	39
1 X社とのミーティング	39
【書式1】 通知書（〈Case ①〉）	40
2 イラストレーターP氏とのミーティング	42
IV 証拠の収集方法	43
V 対応方針の検討の視点	45
1 差止めの影響の大小	45
2 損害額の予測	45
3 著作権侵害の成否の検討	46
VI 回答書の送付	49
【書式2】 回答書（〈Case ①〉）	50

【書式3】 通知書(2) (〈Case ①〉)……………	52
【書式4】 回答書(2) (〈Case ①〉)……………	54
Ⅶ 類否判断の難しさ……………	56
1 複製権及び翻案権侵害の判断基準……………	57
2 イラストの類否に関する裁判例……………	59
Ⅷ おわりに……………	61
㊦㊧㊨ 似ているかもしれないけど知らなかった(依拠性について) ……………	62
第2章 ノンフィクションと著作権 ……………	63
Ⅰ 事案の概要……………	63
Ⅱ 実務上のポイント……………	63
Ⅲ 相談の記録①——1回目の打合せ……………	64
Ⅳ 事実・アイデアと表現(濾過テスト)……………	66
1 著作権の要件①——表現であること……………	66
2 著作物の要件②——創作的であること……………	69
3 濾過テスト……………	70
4 依拠性……………	71
5 原稿を検討する際の注意点……………	72
6 権利侵害を主張する側である場合……………	77
Ⅴ 相談の記録②——2回目の打合せ……………	79
Ⅵ 引用と出所明示、参考文献の扱い……………	81
1 適法引用(著作権法32条1項)……………	81
2 出所明示の方法……………	83
3 先行作品への配慮……………	83
4 炎上リスク……………	84

Ⅶ	その後の経緯	85
	コラム 私の著作権事件コレクション	86
第3章 著作権の帰属・損害論・著作者人格権		
I	事案の概要	90
II	実務上のポイント	90
III	ミーティング	91
IV	問題点の検討	93
1	事前の状況	94
2	行為時の状況	94
3	事後の状況	96
4	本件の検討	97
V	訴訟前の交渉	98
	【書式5】 通知書 (〈Case ③〉)	98
	【書式6】 回答書 (〈Case ③〉)	100
VI	訴訟提起	101
1	訴状作成時の留意点	101
2	損害額の算定	103
	【書式7】 訴状 (〈Case ③〉)	107
	【書式8】 答弁書 (〈Case ③〉)	112
VII	第1回口頭弁論期日	115
VIII	被告からの和解条項案の送付	116
IX	依頼者とのミーティング	117
	【書式9】 和解条項 (〈Case ③〉)	118
X	紛争を予防するために	119
XI	和解成立後のミーティング	119

〈別表〉 著作者人格権侵害に関する裁判所の認定	121
-------------------------	-----

第4章 キャラクターにかかわる取引

I 事案の概要	130
II 実務上のポイント	130
III 事件処理	130
1 相談事例	130
2 ライセンス契約	132
【書式10】 ライセンス契約書案の主な条項 (〈Case ④〉)	132
【書式11】 ライセンス契約書案の主な条項 (修正案)	146
3 制作委託契約	147
4 後日の相談者との打合せ	154
IV おわりに	156

ヨロム 著作権法から離れゆく現代美術	157
--------------------	-----

第5章 音楽・(踊ってみた) 動画と著作権

I 事案の概要	160
II 実務上のポイント	160
III 相談の経緯 (その1)	161
1 楽曲の著作権について	163
2 原盤権	169
IV 相談の経緯 (その2)	174
1 パフォーマーの肖像権	176
【書式12】 肖像権使用許諾書 (〈Case ⑤〉)	176
2 踊り手の実演家権	178
【書式13】 動画出演承諾書案 (〈Case ⑤〉)	180
3 演奏家等の実演家権	180

【書式14】 実演家権譲渡契約書 (〈Case ⑤〉)……………	182
4 楽曲の編曲・アレンジ……………	183
5 踊りの著作権……………	186
【書式15】 著作権譲渡契約書 (〈Case ⑤〉)……………	187
V 無断使用に対して……………	190
1 権利侵害動画が投稿された場合の動画投稿サイトの責任……………	194
2 動画投稿サイトの対応……………	195
3 著作隣接権に基づく削除請求……………	196
VI その後の経過……………	197
第6章 インターネット上の著作権侵害……………	199
I 事案の概要……………	199
II 実務上のポイント……………	199
III 相談の記録①……………	200
1 事務所ウェブサイトのフォームからの問合せ……………	200
2 事務所での相談……………	200
IV ウェブサイト運営者との関係……………	205
1 写真の著作物……………	205
2 ウェブサイトへの掲載と著作物の利用……………	209
3 権利制限規定の適用がないことの確認……………	212
V Y氏との関係……………	214
1 Y氏の著作権……………	214
2 X氏による利用行為……………	215
3 権利制限規定……………	216
VI 権利行使の方法……………	219
1 著作権侵害行為に対する権利行使の概要……………	219
2 メールや連絡フォームでの対応……………	220
3 プラットフォームへの削除申請……………	220

Ⅶ	相談の記録②	221
Ⅷ	発信者情報の取得	222
1	発信者情報の開示請求	222
	【書式16】 訴状（発信者情報開示）（〈Case ⑥〉）	225
2	その他の被疑侵害者の調査方法	227
Ⅸ	相談の記録③	228
	【書式17】 警告書（Z氏宛て）（〈Case ⑥〉）	229
X	その後の経緯	231

第7章 オンラインレクチャーでの著作物の

取扱い

I	事案の概要	232
II	実務上のポイント	232
III	引用にあたらぬか	232
1	①公表された著作物であること	233
2	②「引用」であること	233
3	③引用による利用行為が「公正な慣行」に合致し、「引用の目的上正当な範囲内」であること	234
4	④出典を明示すること	236
5	⑤引用部分を改変していないこと	237
IV	学校その他の教育機関における複製等	238
1	①学校その他の教育機関	239
2	②教育を担当する者と授業を受ける者	240
3	③授業の過程における利用に供することを目的とする場合	240
4	④必要と認められる限度	241
5	⑤公表された著作物	241
6	⑥著作権者の利益を不当に害するものでない	241
7	その他の留意点	241

V	営利を目的としない上演等の注意点	243
第8章 プログラム（アプリ等）と著作権		
I	事案の概要	244
II	実務上のポイント	244
III	相談の経緯	244
	【書式18】 警告書（〈Case ⑧〉）	246
	【書式19】 α ・ β 社間の契約書条項（〈Case ⑧〉）	250
	【書式20】 回答書（〈Case ⑧〉）	251
1	ソフトウェアに関する著作権	253
2	画面の著作権侵害	253
3	プログラム（ソースコード）の著作権侵害	255
4	著作権法27条及び28条に規定する権利の譲渡に係る特掲	256
IV	訴訟の提起	257
	【書式21】 訴状（〈Case ⑧〉）	257
1	専属管轄	263
2	対象物の特定	263
3	被告ソースコードの開示	264
4	文書提出命令	265
5	損害額の主張	266
V	訴訟に対する答弁	266
	【書式22】 答弁書（〈Case ⑧〉）	267
1	著作権侵害の主張に対する反論	269
2	損害論の反論	271
3	ソースコードの任意開示	271
4	訴訟記録閲覧等制限の申立て	272
	【書式23】 訴訟記録閲覧等制限の申立書（〈Case ⑧〉）	273
VI	訴訟の経過と判決	274

1 訴訟の経過	274
2 判決言渡し	275
コラム 裁判の電子化	276
第9章 情報解析サービス	278
I 事案の概要	278
II 実務上のポイント	278
III 相談の記録①	279
IV 情報解析に係る権利制限規定	281
1 著作物の利用と権利制限規定	281
2 平成30年著作権法改正	282
V 著作権と著作隣接権	287
1 著作隣接権	287
2 著作隣接権に関する制限規定	288
VI 相談の記録②	288
VII その後の経緯	289
第10章 職務著作が関連する事案	291
I 事案の概要	291
II 実務上のポイント	292
III 事件処理	292
1 相談事例	292
〔資料1〕 通知書① (〈Case ⑩〉)	292
〔資料2〕 発注書① (〈Case ⑩〉)	299
〔資料3〕 発注書② (〈Case ⑩〉)	299
2 本件への対応	300

12 目次

〔資料4〕 回答書 (〈Case ⑩〉)……………	303
3 回答書送付後の対応……………	304
〔資料5〕 通知書② (〈Case ⑩〉)……………	305
4 乙弁護士との協議……………	313
5 事業譲渡に向けた検討……………	315
IV おわりに……………	317
ヨヨム ご存じですか「弁護士知財ネット」……………	318
・判例索引……………	319
・事項索引……………	323
・著者プロフィール……………	326